

「資料作成・調査回答」について

1. 各都道府県の就職対策担当の校長先生は、全高長ホームページから調査関係文書をダウンロードし、「資料」作成と「調査」回答（2種類）を開始してください。

都道府県内の「調査対象学校長」宛「調査依頼」と「アンケート」「アンケート回答表」をHPに掲載しましたのでご活用・ご利用下さい。

2. 「資料」は、下記の様式例にならい、左上に、都道府県番号（全国高等学校一覧参照）、都道府県名を囲み、各都道府県内の現状・問題点及び意見等を文章でおまとめの上、作成し、下記アドレス2箇所へ送信して下さい。

なお、ファイル名は都道府県番号・県名・就職資料（事例：14 東京就職資料）等、簡潔で結構です。（他委員会からの回答も寄せられます。「就職」を入れて下さい）

3. 「調査」回答については、県内の状況をまとめて、HPからダウンロードした回答ファイル（エクセル様式）にご回答いただき、下記アドレス2箇所へ送信して下さい。

ファイル名は、都道府県番号・県名・就職回答（事例：14 東京就職回答）をお願いします。

4. 上記2、3の資料・調査回答については、研究協議会を効率的に運営するため、事前に専門委員が集約・分析して基調報告を行うこととしております。つきましては、ご回答を平成28年7月25日（月）までに下記へメールにてお送り下さい。

* 資料・調査回答ファイル送信先

① 小堀 紀明（都立瑞穂農芸高校長）（「調査」回答・下記「資料」）

（全部半角） [Noriaki Kohori@member.metro.tokyo.jp](mailto:Noriaki.Kohori@member.metro.tokyo.jp)

② 本部事務局（下記「資料」ご回答のみ）E-mail: zen-koh-choh@abeam.ocn.ne.jp

.....

研究協議会資料 様式例（A 4 縦版・横書き2枚以内でお願いします。）

14 東京	○○○ 高等学校 校長 □□□□
平成28年度 就職対策研究協議会資料	
I 高校生の就職に関する状況について	
A 求人数の増減、内定取り消しなど	
B 違反選考の等の状況	
C 就職未決定者の状況	
D フリーター問題への対応 (以下同じ)	
E 複数応募制度の状況など	
F ジョブポーターの配置状況について	
G 厳しい就職状況の中、学校の取組(記述)	
H 雇用拡大に向けた施策状況(記述)	

<p>II 新たなキャリア教育の推進について</p> <p>A (共通質問) キャリア教育の推進に向けて</p> <p>B 普通高校でのキャリア教育 (普通高校が回答)</p> <p>C 専門高校でのキャリア教育 (専門高校が回答)</p> <p>III (共通)</p> <p>本就職対策委員会は就職状況やキャリア教育の高等学校での在り方について研究・協議を担っていますが、全国の校長会の委員会として今後の本委員会の在り方についての提言があればお願いいたします。</p>
